

令和3年11月8日

大洲市長 二宮隆久様

大洲市民文化会館建設検討審議会

会長 城戸猪喜夫

大洲市民文化会館の整備について（第2次答申）

大洲市民文化会館建設検討審議会（以下「審議会」という。）は、「大洲市民文化会館建設検討審議会に関する条例」第2条の規定に基づき、「大洲市民文化会館の整備方針（立地条件、施設の規模・機能）」について諮問を受けました。

本審議会において、事業の円滑な推進を図るため、令和2年11月6日付けで「立地条件（建設候補地の選定）」について第1次答申を行いました。

今回、「施設の規模・機能」について、別紙のとおり意見を付して答申します。

今後、大洲市におかれましては、「文化芸術と市民交流」拠点としての施設整備に向け、「市民みんなで考える」の方針を継続しながら、本事業が着実に遂行されていくことを期待します。

記

- 1 施設（メインホール）の規模について
- 2 施設の機能について
- 3 施設整備に当たっての配慮事項について
- 4 その他



(別 紙)

大洲市民文化会館は、様々な舞台芸術の鑑賞や文化芸術活動の場としてだけでなく、まちづくりの重要な拠点としての役割を果たすことを期待します。また、多様な文化芸術活動に対し、柔軟な対応ができ、かつ、市民が日頃から気軽に集える交流拠点としての役割も果たすよう期待します。

## 1 施設（メインホール）の規模について

メインホールは、市民の活動や発表、学校でのイベント、他校との交流イベント、プロの公演など様々な用途に使用できることが望まれます。

現在の利用状況や今後の人口推移予測、建設費や維持管理経費などの財政負担も考慮すると、現在の規模よりも縮小するという選択肢もありますが、これまでの市民会館では行われてこなかった新たなイベントにも対応できるよう、現状と同等規模（700～778 席程度）の確保を望みます。

## 2 施設の機能について

### (1) メインホールについて

#### ①ホール客席について

客席は2層構造とし、使用規模に応じて1階席のみの利用ができるなどの工夫を検討するとともに、ゆとりある客席空間の中で、障がいのある人や高齢者にも優しく、親子で安心して鑑賞ができる等、良好な鑑賞環境の整備を望みます。

#### ②舞台について

様々な演目に対応できる仕様とし、舞台サイズについては十分な広さの確保に努めるとともに、スムーズな移動が可能となる動線への配慮を望みます。

### (2) 創造支援エリアについて

市民の日常的な芸術活動を支援する場として、市民意見でも要望の多いサブホールや、活動の多様化に対応できる諸室の整備を望みます。

### (3) 交流エリアについて

各世代が気軽に立ち寄り、集える空間を確保するだけでなく、飲み物が提供できるカフェスペース等の検討を望むとともに、時代に即したネット環境整備への配慮を望みます。

### (4) 管理運営エリアについて

水害による浸水リスク等を考慮し、施設機能が停止しないよう電気設備等の配置について検討を望みます。

### (5) 防災機能について

水害や地震等の大規模災害時における避難所利用を想定し、防災機能を考慮した施設整備を望みます。

#### (6) 屋外スペースについて

市民の交流スペースや天候に左右されないイベントスペース等を検討し、常に人で賑わい、活気あるまちづくりの拠点としての機能確保や事業展開を望みます。

#### (7) 駐車場について

駐車台数の確保については、市民要望において最も重要視されており、四国地域における文化施設の駐車台数も参考に、大洲市の立地条件や自家用車の利用状況、公共交通の整備状況等も考慮しながら、周辺での追加整備を含めて利用者の利便性に配慮した台数確保を望みます。

### 3 施設整備に当たっての配慮事項について

#### (1) 建物配置と動線

建物、駐車場の配置に当たっては、イベント時の交通渋滞、国道及び都市計画道路若宮東大洲線への滞留長等も想定しながら、近隣住民や一般車両などへの影響を極力抑えられるよう十分考慮した上で整備されることを望みます。

また、立地条件からも徒歩や自転車での来館者が多数想定されることから、歩行者等の利便性及び車両との動線に配慮した配置動線計画を望みます。

#### (2) 既存施設との連携

施設整備に当たっては、隣接する総合福祉センターとの機能分担を行い、無駄のない施設整備を望みます。

#### (3) シンボライズ

建物の建築設計に当たっては、整備エリアに溶け込みながらも存在感のある大洲らしいデザインの検討を期待します。

### 4 その他

施設整備に当たっては、市民の利便性はもとより、財政負担等も考慮しながら、設計段階において施設配置や面積等を十分に精査する必要があります。

また、現市民会館の老朽化も著しいため、早期の施設整備を望みます。

今後においても引き続き、市民との対話を重ねながら、大洲市にふさわしい特色ある施設整備が進められることで、四国西南地域の玄関口として人が集まる施設となることを期待します。